

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要  
(美波町立小学校)

1 調査の概要

- 実施日 令和5年4月18日(火)
- 調査方式 悉皆調査
- 調査対象 小学校6学年の児童
- 実施状況 実施学校数 3校  
実施児童数 31人

2 教科別学力調査結果概要

(1) 国語

言葉の特徴や使い方に関する事項	やや課題がある。
情報の扱い方に関する事項	やや課題がある。
話すこと・聞くこと	やや課題がある。
書くこと	課題がある。
読むこと	課題がある。
知識・技能	やや課題がある。
思考・判断・表現	やや課題がある。
選択式問題	やや課題がある。
短答式問題	やや課題がある。
記述式問題	やや課題がある。
全体として	やや課題がある。

(2) 算数

数と計算	やや課題がある。
図形	やや課題がある。
変化と関係	やや課題がある。
データの活用	理解できている。
知識・技能	やや課題がある。
思考・判断・表現	やや課題がある。
選択式問題	やや課題がある。
短答式問題	やや課題がある。
記述式問題	やや課題がある。
全体として	やや課題がある。

### 3 各学校の今後の取り組み

#### (1) 国語

- ・文章にまとめることを念頭に置いて授業を組み立て、児童の力となるように指導していく。
- ・言葉と言葉の関係や、文と言葉の関係を捉えられるように、ねらいをもって学力向上プリントやその他の問題に取り組む。
- ・漢字の定着に向けて、引き続き読み書きに習慣的に取り組む。
- ・複数の資料を使って資料から分かることや疑問点などを明確に相手に伝える文章をまとめる力を高めるためテーマ日記に取り組む。
- ・学習のまとめではそれぞれが書いたものを活用して自分の考えを見直す活動を取り入れる。
- ・新聞記事を活用しテーマにそった自分の考えを伝える学習を取り入れる。
- ・自分の考えを絵や図、キーワードなどで表現させ、自分の考えをより深められるようにする。
- ・児童が書いたものを互いに読みあいながら考えを対比させながら言語理解を高めていく。
- ・漢字の学習では、新出漢字の学習段階において、複数の読み方や熟語、文章での使い方を確認する。日常生活においてその都度適切な使い方を指導し、使い分けの定着を図る。
- ・さまざまな文章を読む中で、描写や表現方法、資料等を丁寧に読み取る活動を取り入れていく。説明文においては、文章と図表などの資料との関連も適切に取り上げる。
- ・話し合い活動において、立場や考えの違いを意識して話し合うこと、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめることなどの学習活動を充実させる。

#### (2) 算数

- ・学習時に、前学年までの関連する単元の復習を確実に行う。
- ・学力向上対策プリントに取り組む。
- ・数量や言葉の関係を捉えて文や図で表すことに取り組む機会を増やす。
- ・それぞれの図形の特徴を自分の言葉で説明したり、作図したりしながら定着を図る。
- ・問題の場面を絵や図に表し数量の比較や変化をつかむ力を高める。
- ・さまざまな単位があらわすものの大きさを適切につかませるため生活のできごとを数量・単位を使って伝え合いをさせる。
- ・体験的な活動を通して理解の定着を図るが、体験したことをもとに、イメージを大切にして問題を解く経験も積み重ねていく。
- ・日常生活の問題を解決するために、場面を解釈して数量の関係を捉えること、問題の解決方法を式や言葉を用いて説明することを大切に指導する。
- ・割合の学習においては図表を用いて考えを整理したり、身近な生活場面に対応させて学習したりすることにより適切に活用することができるようにする。